

UEFA EURO 2016

1. 開催概要

UEFA^[1]欧州選手権は、2016年6月10日から7月10日まで、フランスの10都市で開催されたサッカー大会である。ポルトガルが初優勝を果たし、2017年にロシアで開催されるFIFAコンフェデレーションズカップの出場権を獲得した（優勝：ポルトガル、準優勝：フランス、3位：ドイツ、ウェールズ）。

名 称	UEFA欧州選手権（UEFA EURO 2016）	参 加	24ヶ国
開 催 日 程	2016年6月10日～7月10日（30日間）	入場者数	約243万人
会 場	フランス（10都市）	試 合 数	51試合
形 態	サッカー大会		
ウェブサイト	http://www.uefa.com/		



2. 特色：ISO 20121の認証を授与された初めてのサッカー大会

国際規格の導入- ISO 20121

サステナビリティの概念が各プロジェクトに統合された

環境に優しい取組みへの実行優秀賞の授与

各開催都市、会場等で最も効果的な「ベストプラクティス」が促進された

各分野での非営利団体との提携

余分な食糧や未使用の材料等が寄付され、再利用された

「バリアフリーアクセシビリティ」の向上

利害関係者（例：聴覚、視力障がい等）を含むワーキンググループが行われた

温室効果ガスの削減・二酸化炭素の相殺

新しいアプリケーションが開発され、環境への影響を最小限にする路線情報が提供された

[1] UEFAとは、欧州の各国や地域協会を統括する欧州サッカー連盟（Union of European Football Associations）であり、1954年6月15日にバーセルで設立された。

3. 持続可能性に関する行動計画

目標①：全てのファンはUEFA EURO 2016に来場するのが尊敬される

(障害のあるファンのため、スタジアムのアクセシビリティを向上させる)

行動計画

1. 「ベスト・プラクティス・ガイド」の提供

UEFA EURO 2016に誰でもアクセスできるために、2009年からUEFAがCAFE^[2]との連携が始まる。アクセスしやすい会場を目指し、指標となるベスト・プラクティス・ガイドを各会場に提供した。

2. インフラの整備およびサービスの充実

- ・車いす利用者のため、特定のスペース（席）が作成された。
- ・障害のある人のため、会場内にアクセスしやすい席が設置された。
- ・難聴、聴覚障がい者、視力障がい者のため、特別なサービスが提供された。
- ・障害のある人やその同行者が大会の情報に簡単にアクセスできるようにした。
- ・障害の証明にリンクされた専用の発券システムが開発された。

3. 専門的スタッフの手配

- ・会場へのアクセシビリティを確保し、障害のあるファンを支援するため、各会場で5人の専門的スタッフが手配された。
- ・フランス語を話す視力障がい者のため、各試合で2名の解説者と1名のボランティアが手配され、専用の音声解説サービスが提供された。このサービスは、フランス視覚障害者連盟と提携し、全てのボランティアが専門のトレーニングを受けた。
- ・地域の視力障がい者のファンに、専用の音声解説サービスが引き続けられるため、大会終了後、放送機器が各スタジアムに寄付された。

4. 地域モビリティ改善計画の確保、取組推進及び実行

ファンゾーンや歩行者エリアへアクセスできるように、各主催都市も、地域モビリティ改善計画を確保する取組を推進していた。

※重要業績評価指標の達成

- ・車いす席の設置数：**1,685**（席）
- ・アクセスしやすい席の設置数：**1,111**（席）
- ・追加した車いす席の数：**916**（席）
- ・車いす席チケットの販売数：**16,328**（枚）
- ・アクセスしやすい席チケットの販売数：**6,423**（枚）
- ・車いすの数やアクセスしやすい席の数が満たされたスタジアムの割合：**50%**
- ・各主催都市で試合監視者として募集された障がい者の人数：**14名**

^[2] CAFEとは、欧州フットボールアクセスセンターであり、Center for Access to Football in Europeの略です。

3. 持続可能性に関する行動計画

目標②：UEFA EURO 2016に参加者の健康を守る

(誰でも楽しめるタバコ・フリー環境を作る)

1. 全10会場で「タバコ・フリー・ポリシー」の実施

- ・屋内外の全地域でタバコ関連製品の使用が禁止された。
- ・会場（VIP室も含め）には喫煙エリアが設置されなかった。
- ・タバコおよび関連製品の販売、広告、宣伝等は厳密に禁止された。
- ・eラーニングポータルサイトを通じ、健康上の利点に関する教育が提供された。
- ・各試合で全面禁煙が実施され、違反レベルにより、ボランティアがイエロー又はレッドカードが使用され、会場禁煙の状況が監視された。

2. ファンへ「タバコ・フリー・ポリシー」の伝達

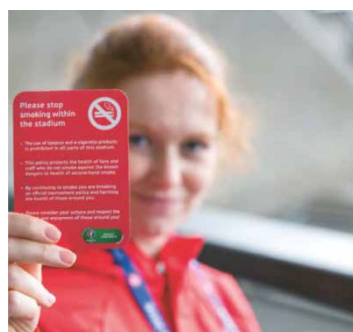
- ・禁煙マークおよび説明文がチケットの裏側また関連資料に記載され、会場の規則等にも明確に記載された。
- ・禁煙サインが多言語で作成され、見やすいエリアに設置された。
- ・試合前に「全面禁煙」がアナウンスされ、観客に禁煙の主旨を伝えるため、ハーフタイムにも会場スクリーンと放送設備が利用された。
- ・禁煙に対する意識を高め、試合で確実に実施するため、違反の程度が軽微と認められる場合は、イエローカードを提示され、程度が重いと認められる場合は、レッドカードを提示された。

3. 会場での監視およびデータの分析

- ・会場でイエローとレッドカードが提示された場所、時間等を記録するのが必要であり、分析の結果に従い、スタッフの手配、位置等の戦略が再調整された。

※重要業績評価指標の達成

- ・タバコフリーと宣言されたスタジアムの割合：**100%**
- ・イエローカードの数：**12,805**（枚）
- ・レッドカードの数：**1,159**（枚）



3. 持続可能性に関する行動計画

目標③：多様性を尊重するため、差別撲滅に向けた監視プログラムを実施

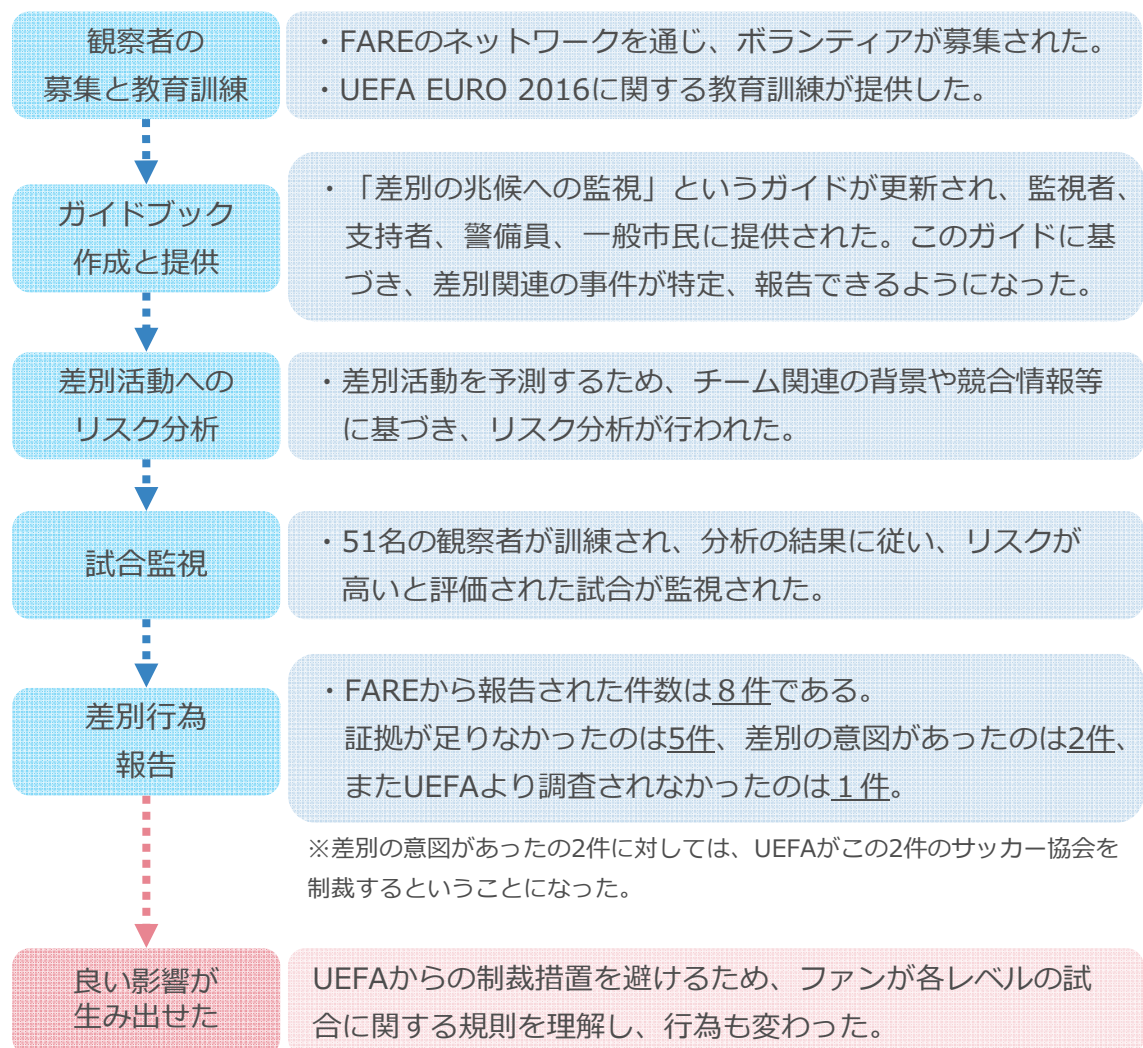
(社会の価値と多様性を守るため、UEFAは差別に対する根絶の姿勢を示す)

1. 欧州でサッカー業界における差別撲滅に努めるFARE^[3]とFFF^[4]の提携

- ・試合監視プログラムがFAREよりリードされ、UEFAのパートナーとして、FAREが差別への取組みおよび社会統合の促進をコアミッションに努めている。
- ・FFFより、人種差別を防止するトレーニングがスタッフに提供された。

2. 差別撲滅に向けた試合監視プログラムが実施された内容および流れ：

行動
計画



※重要業績評価指標の達成

- ・試合監視プログラムが行われた試合数：**51**（試合）
- ・差別行為に対して報告された事件数：**8**（件）
- ・差別行為に対して制裁された事件数：**2**（件）

^[3] FAREとは、欧州でサッカー界に人種差別への撲滅向けの組織であり、Football Against Racism in Europeの略。

^[4] FFFとは、フランスのサッカー連盟であり、French Football Federationの略。

3. 持続可能性に関する行動計画

目標④：多様なファン文化を尊重するため、ファンに全面的に支援を行う

(各国からのファンが受けられる環境づくりを促進する)

行動計画

FSE^[5]およびCONCORDIA^[6]との提携

全51試合には約243万人の観客（約150万人の外国人を含め）が参加し、ファンのニーズに合わせるサポートが求められたので、ファンにサポートに努める組織と提携した。

◆ ファンへのサポート内容

- ・チケット、宿泊施設、交通機関等の情報、または緊急事態等への支援が提供された。
- ・24ヶ国のうち、19ヶ国向けの案内サービスが提供された。

◆ ファンが下記の利用方法で、サポートが受けられる

- ・各主催都市で移動式案内所が設立された（合計10ヶ所）。
- ・24時間相談ホットラインが設置された。
- ・ファン向けの専用アプリが開発された。



※重要業績評価指標の達成

- ・案内サービスの利用人数：**80,000**（名）
- ・**19**ヶ国からのボランティアが参加し、案内サービスを提供した。
- ・案内所でサービスを提供したボランティア数：**186**（名）

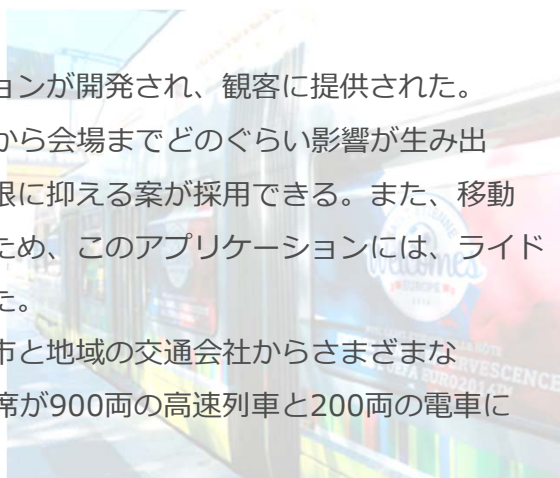
目標⑤：モビリティ・コンセプトを広め、公共交通の利用を促進

(二酸化炭素の排出量が相殺できるように、公共交通機関、ライドシェア等の利用を奨励する)

行動計画

◆ 観客に向けた取組み

- ・「Eco-Calculator」というアプリケーションが開発され、観客に提供された。
- ・「Eco-Calculator」を通じ、観客が自宅から会場までどのくらい影響が生み出せるか計算ができ、環境への影響を最小限に抑える案が採用できる。また、移動に関する温室効果ガス排出量を削減するため、このアプリケーションには、ライドシェアを促進する実用的な機能も含まれた。
- ・公共交通の利用を促進するため、主催都市と地域の交通会社からさまざまなアイデアが提案された（例：150,000席が900両の高速列車と200両の電車に追加された）。



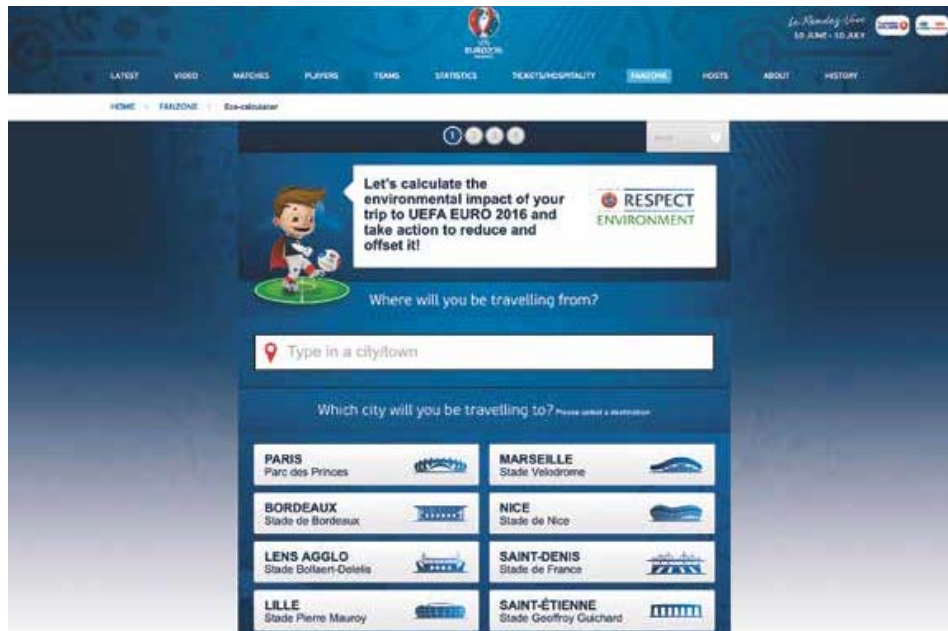
[5] FSEとは、非営利団体として設立されたサッカーファンネットワークであり、Football Supporters Europeの略。

[6] CONCORDIAとは、国際ボランティアプロジェクトを通じ、平和と寛容を促進している協会である。

3. 持続可能性に関する行動計画

目標⑤：モビリティ・コンセプトを広め、公共交通の利用を促進

(二酸化炭素の排出量が相殺できるように、公共交通機関、車の相乗り等の利用を奨励する)



Eco-Calculatorのイメージ

◆ スタッフ、関係者に向けた取組み

① 準備期間

- ・ 輸送ニーズを最小限に抑えるため、ビデオ会議/電話会議システムが導入された。
- ・ 内部基本方針が制定され、環境に配慮した交通手段の利用が奨励された。

② 開催期間

- ・ 全てのボランティアとスタッフが公共交通を無料で利用できた。
- ・ 各チーム、関係者、VIPのみの限定交通サービスは、400名のボランティアと300名の専門的運転手から提供された。
- ・ 安全で環境にやさしい運転に関する教育訓練が提供された。

◆ 温室効果ガスの削減・二酸化炭素の相殺

- ・ 「カーボン・オフセット・スキーム」が企画され、全ての観客と24チームからの参加が奨励された。この企画を通じ、従来化石燃料を使用していたニューカレドニアに、再生可能な電気が提供された。
- ・ 全体で3万5千トン相当の二酸化炭素が相殺された。

※ 重要業績評価指標の達成

- ・ 観客、チーム等の運送から相殺された二酸化炭素：**517,000**（トン）
- ・ スタジアム行きの公共交通機関で追加された席数：**150,000**（席）

3. 持続可能性に関する行動計画

目標⑥と⑦：環境を尊重するため、廃棄物、水、エネルギーへ対策を講じる

(循環型経済社会の構築向けの廃棄物を管理し、水およびエネルギーの最適化を図る)

廃棄物削減への取組み

環境へ与える影響を最小限に抑えるため、循環型経済の概念と一致し、リデュース (Reduce) ・ リユース (Reuse) ・ リサイクル (Recycle) の3Rポリシーが実施された。結果として、1ヶ月で1,500トン以上の廃棄物が処分され、38%のリサイクル率が上げられ、観客1人当たりの廃棄物量も減らされたという大きな成果が得られた。

◆主な行動計画

- ・主催者から余分な食糧が慈善団体に寄付された。
- ・会場で再利用可能なカップが提供された。
- ・デジタルで出版物が作成された (例：メディアガイド、マニュアル等)。
- ・購入より、レンタルできる備品が最優先に利用された (例：家具等)。
- ・未使用の材料がサプライヤーに返却、または組織に寄付された。
- ・スポーツ関連用品 (設備を含め) が地元のクラブやスタジアムに寄贈された。
- ・ボトルの蓋が集められ、車いすの購入に使用された。

◆重要業績評価指標の達成

- ・リサイクルされた廃棄物の割合：38% (1,542トン)
- ・余分な食糧が食材慈善団体に寄与された量数：10 (トン)

水およびエネルギーの最適化を図る

水とエネルギーのより効率的な利用を達成し、再生可能エネルギーの導入を拡大するため、水とエネルギーに関する行動計画が実施された。

◆「水」について

- ・雨水利用システム、動き検出器、スマートスプリンクラーシステム等が採用された。

◆「エネルギー」について

- ・発電機の数減らすため、全国送電網からの電力が使用された。
- ・エネルギー効率の高いLED表示システムが導入された。
- ・メディアセンターの営業時間が短縮された。
- ・ケータリング分野で、非電化コロン付卓上鍋が使用された。
- ・施設で空調効率を大幅に向上させるため、効率的な温度制御システムが構築された。

◆重要業績評価指標の達成

- ・電力サービス水準の改善より発電機で節約された燃料：30,000 (リットル)
- ・再生可能エネルギーによる電力が購入された会場数：3

3. 持続可能性に関する行動計画

目標⑧：責任ある製品およびサービス調達を推進と実現

(持続可能性に関する課題へサプライヤーの意識を高めるため)

行動計画

UEFA EURO 2016のサプライヤーとパートナーは、「国連グローバル・コンパクトの10原則」と「労働機関宣言」に従い、良いプラクティスおよび主催者との協力を通じ、環境、経済、社会への影響を最適化することを支援した。

調達に関連するリスクと持続可能性の問題に取り組むため、多くの行動が実施された。

- ・ 製造業における労働条件、人権を守るため、UEFA EURO 2016から認可されたサプライヤーにより、幅広い種類の製品及び商品が生産された。
- ・ 持続可能性に関する要件が全ての提案依頼にも含まれた。
- ・ 調達ガイドラインで、バイヤーにトレーサビリティ（追跡可能性）を確認するのが奨励された。
- ・ リスク、重要な考慮事項（例：原産地、生産者名、構成、使用期限等）、各カテゴリの製品に対して実用的なヒントを紹介する内部調達ガイドが作成された。

◆重要業績評価指標の達成

- ・ 国連グローバルコンパクトの原則と労働機関宣言に遵守された契約の割合：**100%**
- ・ 調達項目が欧州で生産された割合：**71%**
- ・ 欧州で生産された項目を調達した予算の割合：**51%**

参考資料：

1. SOCIAL RESPONSIBILITIES & SUSTAINABILITY- Post-event report, 2016
2. SOCIAL RESPONSIBILITIES & SUSTAINABILITY- One-year-to-go report, 2015
3. UEFA EURO 2016- SOCIAL RESPONSIBILITIES & SUSTAINABILITY POLICY
4. UEFA EURO 2016- SUSTAINABILITY TIPS & TRICKS



本件に関するお問い合わせ先

Positive Impact日本事務局（株式会社セレスポ サステナブルイベント研究所内）

170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5

Tel: 03-5974-1111 E-mail: ise@cerespo.co.jp

URL : <http://www.positiveimpactevents.com/positive-impact-japan>